

松浦充宏教授退官記念シンポジウム
「地震の発生から沈み込み帯のテクトニクスまで」

日程： 2009年 3月27日(金) ～ 28日(土)

場所： 東京大学理学部 1号館中央棟 2階小柴ホール

(http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_25_j.html)

3月27日(金)

10:30 – 10:40 はじめに

セッションA：静的変形・テクトニクス

座長：深畑幸俊

10:40 – 11:10 岩崎貴哉「弾性変形から粘弾性変形へ」

11:10 – 11:40 谷本俊郎「Satoスクールと日本の弾性波動論」

11:40 – 12:10 佐藤利典「プレート間相互作用の表式の導出と島弧・海溝系の形成、変動について」

12:10 – 13:20 (昼食)

座長：佐藤利典

13:20 – 13:50 深畑幸俊「センチな旅路で見つけた等価定理と一般化伝達行列」

13:50 – 14:20 高田陽一郎「古くて新しい地平：大規模地下構造の3次元時間発展」

14:20 – 14:40 橋間昭徳「モーメント・テンソルによる内部変形場の定式化と、マリアナ沈み込み帯のテクトニクスへの応用」

14:40 – 15:00 鹿倉洋介「プレート沈み込み帯の長期変形と地形形成過程」

15:00 – 15:15 (休)

セッションB：インバージョン解析

座長：橋本千尋

15:15 – 15:45 平田直「一般的な逆問題の解法を用いた震源決定法：hypomhの秘密」

15:45 – 16:15 鷺谷威「測地観測と測地データ逆解析」

16:15 – 16:30 (休)

座長：鷺谷威

16:30 – 17:00 吉岡祥一「プレート間カップリングから沈み込むプレートのダイナミクスへ」

17:00 – 17:20 寺川寿子「CMTデータインバージョン法による日本列島周辺域の応力場」

17:20 – 17:40 野田朱美「GPSデータの逆解析による島弧地殻の3次元弾性—非弾性歪み場の推定」

3月28日(土)

セッションC：地震発生の物理

座長：井出哲

9:45 - 10:00 片岡洋「20年前を振り返って」

10:00 - 10:25 芝崎文一郎「地震発生準備過程のモデル化—破壊核形成から高速破壊への遷移過程—」

10:25 - 10:50 青地秀雄「すべりと時間に依存する断層構成則とマルチスケール不均質性」

10:50 - 11:05 (休)

座長：芝崎文一郎

11:05 - 11:30 中谷正生「摩擦を理解するための概念的枠組みとその応用」

11:30 - 11:55 井出哲「地震のスケーリング」

11:55 - 12:20 吉田真吾「地震破壊過程のモデル化とインバージョン」

12:20 - 13:30 (昼食)

セッションD：CAMP（大規模数値シミュレーション）

座長：高田陽一郎

13:30 - 13:55 橋本千尋「日本列島域の地殻活動シミュレーション」

13:55 - 14:20 福山英一「地震の動的破壊伝播との連成シミュレーション」

14:20 - 14:45 古村孝志「地震動と津波発生伝播の大規模連成シミュレーション」

14:45 - 15:10 中島研吾「学際計算科学と固体地球科学：研究と教育」

15:10 - 15:30 (休)

特別記念講演

座長：岩崎貴哉

15:30 - 17:00 松浦充宏先生「地震の発生から沈み込み帯のテクトニクスまで」

退官記念パーティー

18:00 ~